

経営比較分析表（平成30年度決算）

兵庫県神戸市 鈴蘭台駐車場

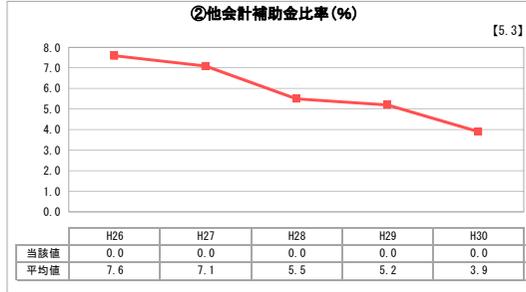
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	24	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
公共施設	無	3,939
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
91	250	代行制

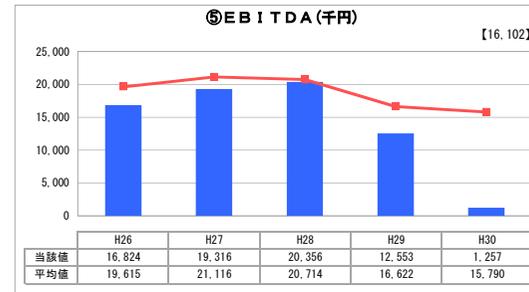
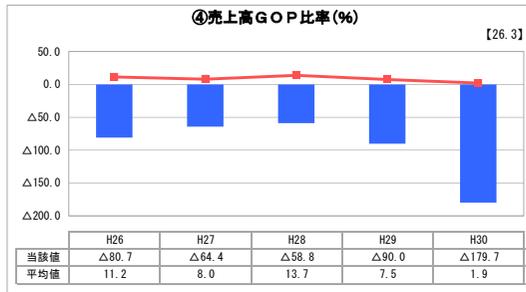
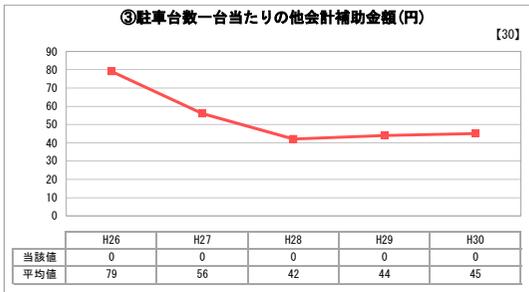
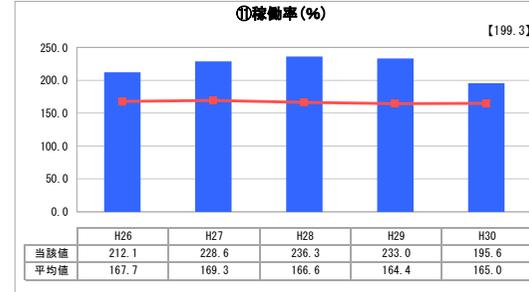
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

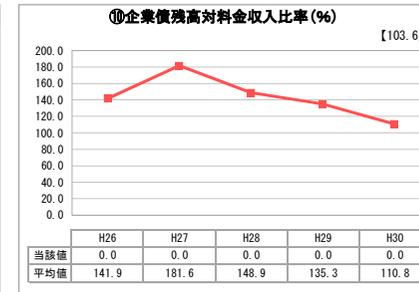


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

144,655



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率が100%を上回り黒字ではあるものの、経年比較において減少傾向にある。これは、近隣の北区役所が平成30年度中に移転したことによる需要減が影響していると思われる。④売上高GOP比率や⑤EBITDAは類似施設平均を下回っている。近隣の区民ホール以外に集客施設がないため大幅な需要増は厳しいが、令和元年度からは新たな取り組みとしてカーシェアリング事業の開始を予定している。

2. 資産等の状況について
 建設費(約10億円)と比較すると、⑧設備投資見込額は他の市営の駐車場と比べて多くなっている。⑩企業債残高対料金収入比率は0であり、引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に行っていく。

3. 利用の状況について
 ①稼働率は類似施設の平均と比較すると、高くなっている。これは、近隣の区民ホール利用者の駐車場利用が一定数存在するためと考えられる。

全体総括
 稼働率は依然として高い水準を維持しているものの、北区役所の移転による需要減に伴い、経営状況は悪化すると考えられる。新たな取り組みとしてカーシェアリング事業を開始するなど、引き続き、指定管理者と連携して、収益構造の改善に取り組んでいく。